

意見書

富岡町くらし向上委員会は、令和元年7月30日及び12月17日に委員会を開催し、本町の復興・再生の現状を確認するとともに、暮らしやすく居心地の良い富岡町を目指す観点から必要と考えられる施策等について意見を交換いたしました。

各委員からは、帰還困難区域を除いて避難指示が解除されてから2年以上が経過し、町内の復興・再生が着実に進むなか、「空き家・空き地の管理」、「営農再開の推進」、「移住・定住の推進」に関する施策の更なる取組が必要との意見がありました。

当委員会としては、復興・再生の次なるステージ、さらには町の将来を見据え、空き家・空き地の荒廃防止、移住・定住希望者への支援、そして、町の復興・再生を加速化させるための羅針盤となる災害復興計画（第二次）に、以下のとおり取り組むことが必要であると提言します。

記

- 1 避難している町民の土地や農地が荒廃し、イノシシなどの住み家になっている現状があり、町民の帰還や営農再開の足かせとなっている。イノシシ被害の防止を図るためにも、「空き家・空き地の荒廃防止」、「営農再開の推進」に取り組むことが必要である。
- 2 避難生活の長期化により町内居住人口は減少し、地域活動の担い手不足による地域力の低下が懸念される。地域内での性急な人口増加は難しいため、地域外からの担い手の確保が急務であり、子育て支援や定住に向けた支援を継続するとともに、「移住・定住希望者の受入れを促進」する取り組みが必要である。
- 3 災害復興計画（第二次）の後期編を策定するにあたり、今後5年間で具体的にどのようなことに取り組むのかを示すことが必要である。

令和2年1月14日

富岡町長 宮本 皓一 様

富岡町くらし向上委員会
委員長 渡辺 和則

委員から提案された取組の例

1 空き家・空き地、農地の荒廃防止

- ・所有者に対する空き家・空き地の適正管理の注意喚起と支援策の周知
- ・電気柵設置等による有害鳥獣被害の防止
- ・営農再開の推進による農地利活用の促進

2 移住・定住希望者への支援

- ・住環境確保に対する支援の充実
- ・地域の魅力を伝える観光事業の強化による関係・交流人口の創出、拡大

3 その他

- ・合宿センターを活用した交流促進
- ・介護施設の充実
- ・2次救急体制の充実など地域医療の強化
- ・自主防災組織の検討
- ・地域コミュニティの再生
- ・フォローアップ除染の継続

富岡町くらし向上委員会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

役職	氏名	所属団体
委員長	渡辺 和則	元富岡町災害復興計画（第二次）検討委員会 委員長
副委員長	秋元 正國	双葉地方町村会 常務理事兼事務局長
	猪狩 いづみ	富岡町教育委員
	猪狩 隆	富岡町社会福祉協議会 事務局長
	石澤 弘幸	富岡町立とみおか診療所 事務局長
	折田 真紀子	長崎大学 原爆後障害医療研究所 助教授
	金澤 文男	双葉地方広域市町村圏組合 富岡消防署 署長
	河津 賢澄	富岡町除染検証委員会 委員長
	三枝 和代	
	設楽 芳浩	富岡町立富岡第一中学校 校長
	白田 昌之	福島県双葉警察署 副署長
	手塚 佐和子	
	松本 政喜	富岡町行政区長会 会長
	横須賀 幸一	富岡町商工会 事務局長
	若林 重和	
	渡邊 達生	富岡町農業復興組合 組合長